

「火の用心だより」第114号(令和6年9月)

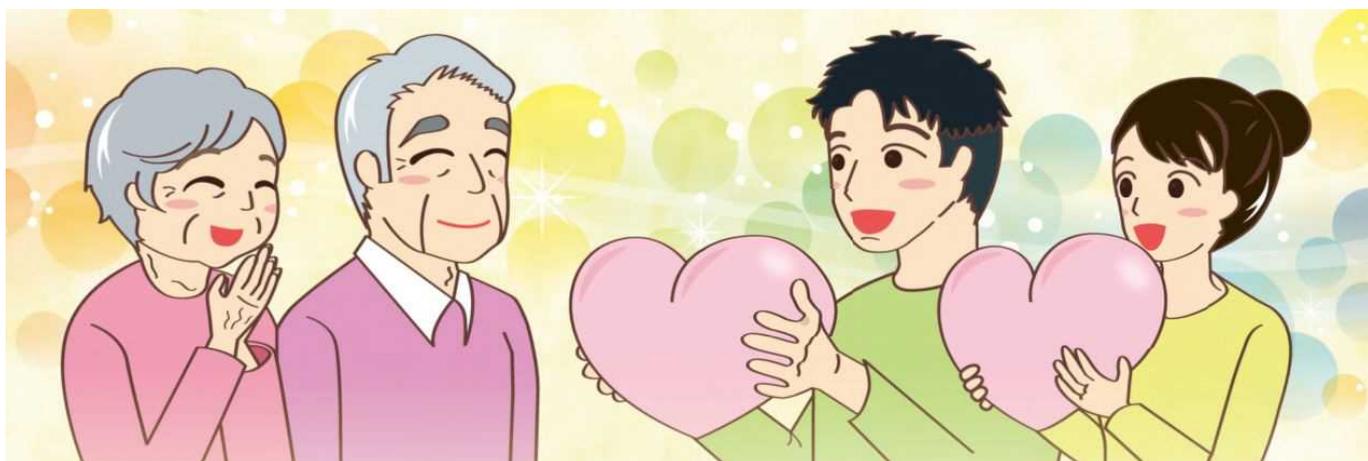
発行：札幌市消防局予防部予防課

住宅防火・防災キャンペーンを実施します！

札幌市内では、令和6年上半期中に住宅火災が92件発生しています。そのうち、28件が高齢者世帯から発生しており、**6名**の方が亡くなっています。

札幌市消防局では、住宅火災における高齢者を中心とした死者数の低減を図るため、**9月1日～9月21日**の期間中に高齢者への火災予防の注意喚起を強化するとともに「**老人の日、敬老の日に【火の用心】の贈り物**」をキャッチフレーズに住宅用防災機器を高齢者に贈ることを呼びかけています。

みなさまも、ご高齢の祖父母・両親・親戚に代わって**住宅用火災警報器の点検**をしたり、**消火器・防災品・自動消火装置などをプレゼント**するのはいかがでしょうか。



出典：消防庁ホームページ(<https://www.fdma.go.jp/>)

「キャンペーンポスター」(消防庁：https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/yobou_contents/img/keirou.jpg)を加工して作成

住宅用火災警報器を点検・交換しましょう！



住宅火災で死者が発生する要因として、火災の発見が遅れ、気づいた時には火が大きくなり、既に逃げ道がなかったと思われる事例が多く、令和6年上半期中に、高齢者世帯から発生した火災で亡くなった6名の方全員が逃げ遅れによるものです。

住宅に設置が義務付けられている住宅用火災警報器は、約10年が寿命とされています。正常に作動しているかを点検し、作動しない場合は本体交換をお願いします。

住宅用消火器を用意しましょう！

火災が発生したときに「消火器」で初期消火を行うことは、被害を最小限に食い止めるためにも非常に重要です。

消火器には、小さくて軽い「住宅用消火器」や、スプレー式で高齢者でも扱いやすい「エアゾール式簡易消火具」なども販売されており、小型（コンパクト）で軽く、だれでも簡単に操作できますので、高齢者がいるご家庭には、このような器具を備えておきましょう。

消火器の使い方は…

- ①安全ピンを抜く
- ②ホースを火元に向ける
- ③レバーを握る



防災品を使用しましょう！

令和6年上半期中には、たばこの火種が布団に落下したことが原因による火災で、高齢者の方が亡くなられています。また、過去にはろうそくやストーブ、こんろの火が衣服に燃え移ったことにより亡くなられた方もいました。

火災による被害を減らすため、枕や布団などの寝具、パジャマやエプロン等、燃えにくい素材で作られた「防災品」を使用することをお薦めしています。

自動消火装置の設置費助成事業行っています！



札幌市消防局では、札幌市内に居住する**65歳以上の高齢者世帯**を対象として、設備費用＋設置費用の**最大28,700円**（原則9割）を助成！

台所・ストーブ・仏壇などにあらかじめ設置するだけで、自動で火災の熱を感知し、消火してくれる優れモノです！

詳しくは



市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目
☎011-215-2040

SAPPORO



さっぽろ市
02-N0624-386
R62-301